

社会福祉充実残額算定シート

1. 「活用可能な財産の算定」

項目	金額
資産 (a)	365,716,960
負債 (b)	108,441,140
基本金 (c)	2,000,000
国庫補助金等特別積立金 (d)	596,271
合計 (a - b - c - d)	254,679,549

- 手入力 (必須入力) するセルです (※「社会福祉法人の財務諸表等電子開示システム」搭載版では、他シートを参照するための計算式が設定されていますので、手入力は不要となります。)
- 計算式が設定されており、入力することはできません。
- 手入力するセルです。(不明の場合は、記載要領に従って入力してください)
- 合計額を算出するための計算式が設定されており、入力することはできません。
- プルダウンリストから選択するセルです。直接入力することはできません。

2. 「社会福祉法に基づく事業に活用している不動産等」

(1) 財産目録における貸借対照表価額

合計 (a)	91,125,341
--------	------------

(2) 対応負債

項目	金額
1年以内返済予定社会福祉連携推進業務設備資金借入金	0
1年以内返済予定設備資金借入金	0
1年以内返済予定リース債務	0
社会福祉連携推進業務設備資金借入金	0
設備資金借入金	0
リース債務	0
合計 (b)	0

(3) 合計

項目	金額
財産目録合計 (a)	91,125,341
対応負債合計 (b)	0
対応基本金 (c)	2,000,000
国庫補助金等特別積立金 (d)	596,271
合計 (a - b - c - d)	88,529,070

3. 「再取得に必要な財産」

(1) 将来の建替費用

財産の名称等	取得年度	建設時延べ床面積 (小数点以下第4位を四捨五入)	建設時自己資金	大規模修繕実績額	減価償却累計額	建設単価等上昇率					合計額		
						② 1㎡当たり単価上昇率				①、②のいずれか 高い方の率		自己資金比率	
						① 建設工事費 デフレーター	一般的 1㎡当たり 単価 (a)	当該建物の建設時の 取得価額 (b)	建設時延べ床 面積 (c)			a / (b/c)	③ 一般的自己 資金比率
合計												0	

※ 割合は小数点第4位四捨五入。

(2) 大規模修繕に必要な費用

減価償却累計額 (a)	一般の大規模修繕 費用比率 (b)	大規模修繕実績額	合計額①	※大規模修繕額が不明な場合		合計額 (①、②のいずれか)
				貸借対照表価額 (c)	合計額② ( (a×b) × c / (a+c) )	
						0

(3) 設備・車輛等の更新に必要な費用

合計	44,630,371
----	------------

(4) 合計

項目	金額
将来の建替費用	0
大規模修繕に必要な費用	0
設備・車輛等の更新に必要な費用	44,630,371
合計	44,630,371

4. 「必要な運転資金」

項目	金額	月数	合計額	
年間事業活動支出	198,366,382	12	3	49,591,595

5. 「計算の特例」

項目	金額	月数	合計額	
年間事業活動支出	198,366,382	12	12	198,366,382

6. 「社会福祉充実残額」

項目	金額	控除対象財産計	計算の特例適用
活用可能な財産	254,679,549		
社会福祉法に基づく事業に活用している不動産等	88,529,070		
再取得に必要な財産	0	286,895,452	※「5. 計算の特例」の適用有無を 変更する場合、以 下のセルから選択す ること。
必要な運転資金	0		
計算の特例	198,366,382		
合計	-32,210,000		適用する

7. 「現況報告書に記載する「社会福祉充実残額」

項目	金額
社会福祉充実残額	-32,210,000
社会福祉充実計画用財産	0
合計	-32,210,000